

# 学級経営・教科指導における Microsoft Teams の効果的活用法について — 担任クラスにおける実践報告—

森 貞\*

## Effective Use of *Microsoft Teams* for Class Management and Subject Teaching — A Practical Report of the Class under My Charge—

Sadashi MORI

*Microsoft Teams* (henceforth *Teams*) is a tool for remote group communication and collaboration, so it is well known that it enables teachers and students to give and take classes respectively under a remote circumstance. This paper shows new ways of using *Teams* in class management and in teaching subjects (e.g. English). In the former case, a chat function of *Teams* enables a classroom teacher to edit a collection of students' compositions/essays on school events more easily and more efficiently into a *Word* file format through copying and pasting. In the latter case, a {post/chat} function of *Teams* enables a subject teacher to facilitate students' self-learning through uploading *PowerPoint* files used in classes immediately after the class and online questions and answers between a teacher and a student, respectively.

Keywords: *Microsoft Teams*, class management, teaching English, self-learning, online questions and answers

### 1. はじめに

福井工業高等専門学校では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、2020年5月7日から8月7日にかけて、Microsoft Teams (以降 Teams) を用いた遠隔授業が行われた。後期からは、通常の対面授業が再開し、2021年度は年度当初から対面授業が行われている。

この Teams は、インターネット接続環境があれば、いつでもどこでも利用できることから、遠隔授業以外でも、利用価値が高い。クラスの学生全員に対してであれば「投稿」を、学生個人に対してであれば、「チャット」を用いて、即座に連絡したい事項を伝えることができるし、「チャット」の添付機能を使えば、Word, PDF 等の電子データ (スクリーンショットを含む) になっている場合に限られるが、課題を提出させることもできる。

10年ぶりに1年生のクラス担任となった筆者は、上記の利点を踏まえ、学級経営・教科(英語)指導に、Teams を積極的に活用するように努めた。本稿は、その実践報告である。

本稿の構成は、以下のとおりである。2節では、学級経営における Teams 利用の実践例を報告する。3節では、教科(英語)指導における Teams 利用の実践例を報告する。4節は、まとめである。

### 2. 学級経営

令和3年4月6日(入学式当日)に、教務主事・総合情報処理センター長の連名で、「Microsoft Teams の利用について」という文書が、新入生および保護者に配布された。本文は以下のとおりである。

高専機構と Microsoft 社との包括協定により、本校の学生全員が Microsoft 365 のアカウントを持っており、これらの機能を利用して学校からの連絡などを行っています。そのため、新入生の皆さんには、これから順次、各種アプリのインストールやセッティングを行って頂くこととなります。Microsoft Teams (以下 Teams) は Microsoft 365 のアプリケーションの一つで、授業や教員との連絡、学生間でのコ

\*一般科目教室 [1mori@fukui-nct.ac.jp](mailto:1mori@fukui-nct.ac.jp)

コミュニケーションツールとして使用することができるツールです。そのため、4/7（水）のHRにてスマートフォンでのTeamsのセッティングを行います。（後略）

上記の日程にしたがって、Teamsのセッティングが行われ、4月7日以降、学生のTeams利用が可能になった。

## 2・1 入学式直後のホームルーム・保護者懇談会

入学式直後に、各教室に移動し、ホームルームを行った。担任・担任補佐の自己紹介の後に、パワーポイントで、『F3』の意味（『青武台だより』No.225掲載原稿（2021/04/01発行）【付録1】を提示し、それを読み上げて、[F3]の意味、[F3]のスローガンを確認するとともに、[F3]のABCを提示した（後日、[F3]の意味・[F3]のABCはF3教室に掲示した）。

その後、連絡事項はTeamsの「投稿」あるいは「チャット」に随時アップロードするので、注意すること（「見逃していた」は言い訳にならない）と作文はTeamsの「チャット」の添付機能を用いて提出してもらうことになることを伝えた。

### [F3]の意味

- ①授業、試験、レポート提出に係る学習習慣の基礎づくり
- ②新たな環境に適応した生活習慣の基礎づくり
- ③良好な人間関係構築の基礎づくり

### [F3]のスローガン

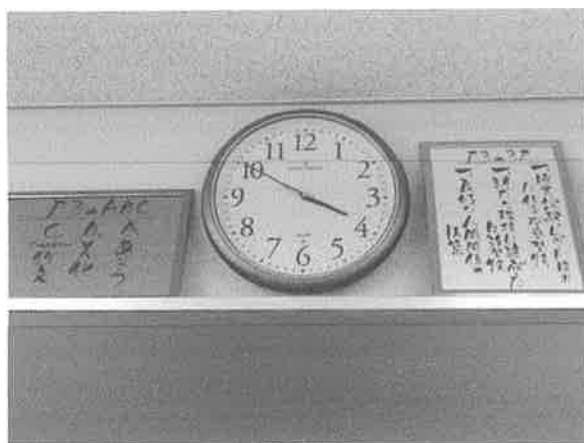
- 元気（げんき）
- 勇気（ゆうき）
- 根気（こんき）

### [F3]のABC

- A—あいさつ（朝・昼・晩）
- B—美化（整理・整頓、清掃の徹底）
- C—Composition（学校行事の感想文）

昼休みをはさんで、午後からは、保護者懇談会を行い、午前中のホームルームで学生に話した内容に加えて、学生の学校生活の様子を作文等で保護者向けに発信するので、それに対する反応（作文を読んだ感想等）をお願いするこ

とがある旨、お伝えした。



## 2・2 『青樹』巻頭言テスト

「文は人なり」という言葉があるが、担任がどのような人間であるかを理解してもらうために、保護者懇談会の時に、校友会誌『青樹』に掲載された巻頭言【付録2】【付録3】を配布した。学生には、4月7日の帰りの会の時に、「よく読んでおくように」とだけ指示し、配布した。

翌8日に、『青樹』巻頭言テスト【付録4】（解答時間5分）を抜き打ちで実施した。合格点は10点中6点以上であったが、不合格者（5点）は1名だけであった。

〈週末課題〉として、学生には、保護者に「あとで内容に関するテストをしてもらうから」と言って、巻頭言2枚を読んでもらうよう依頼した。さらに、（巻頭言を見ずに）問題を解いてもらった後に、採点をして、月曜日に提出するよう依頼した（不合格者（5点）は1名だけであり、不合格の学生の保護者であった）。

『青樹』巻頭言テストの正解は以下のとおりである。

- 1. ①    2. ②    3. ②    4. ③    5. ②
- 6. ①    7. ②    8. ①    9. ③    10. ②

## 2・3 文集『2021年度F3のASHIATO』

筆者は、クラス担任時には、必ず、学校行事に関する体験文を書かせることにしている。その理由は、体験を文章化することで、自身の行動の良かった点・反省すべき点を認識することができ、その認識を、以降のより良い行動を取るための指針とすることができるかと信じているからである。また、学校行事後に、体験文を書かなくてはならないということになると、いい加減な気持ちでの参加を抑制す

ることにつながるであろうと期待しているからでもある。

今年度の文集は、10月末の時点で、第5号まで発行済みである。原稿は、Teamsの「チャット」の添付機能を用いる形で提出させている。この方法を用いることで、送付されてきたプレインテキスト（あるいはWordファイル）の原稿をコピー&ペーストして、PDF化すれば、即座に、Teamsにアップロードできる状態になり、発行までの時間が、以前担任していた時よりも、大幅に短縮可能となった。また、以前は、必要部数（クラス学生数+関係教員数）を印刷して配布する形を取っていたが、この方式を採用したことで、F3のTeamsの「投稿」に文集をアップロードすることで、学生だけでなく、F3の教科担当にも容易に配布（閲覧）可能となり、労力の大幅な軽減につながった。なお、教務主事・学生主事・寮務主事・学生相談室長・各学科長・一般科目教室主任には、別途メール経由で配信している（F3のチームに紐づけすれば、Teamsからの配信も可能である）。

以下に、第1号から第5号に掲載した作文を抜粋する（作文の再録（掲載）に関しては、関係学生より「掲載許可」を得ている旨、付記する）。

**2・3・1 第1号（『新入生オリエンテーション』編）**  
表紙【付録5】に続いて、学生の作文を掲載して、文集を作成した。以下に学生の作文（4人分）を再録する。

「幸」

新入生オリエンテーションに参加しました。最初は休みの日だった土曜日に学校があり、悲しいなと思っていたけれど、マイクロディベートやドッチボールをクラスの友達と一緒にしていくうちに楽しく感じていくようになりました。

マイクロディベートでは自分は情報不足で役に立てませんでした。しかし、他の方達がすごい情報を集め頑張って票をとっていて、すごいなと思いました。今度やる時は役に立てるようにしっかり議論することを調べていきたいと思っています。

ドッチボールでは相手のチームを全滅させたりして圧勝していたけど、最期の試合では逆に全滅させられそうになり負けてしまいました。しかし、クラスの人との友好も深

めることができて、「きのこの山」も選ぶことができ、不幸中の幸いだったなと思いました。

今回のオリエンテーションで多くの人と仲良くなったけれど、まだまだ話したことも名前も知らない人がたくさんいるので、これからの学校生活で自分から進んで話しかけていこうと思いました。そして今回仲良くなれた人とはより仲良くなれるようにしたいです。

「短かった楽しい時間(朝からなのに約2時間)」

僕はオリエンテーションを朝からすると聞いて、ディベートやドッチボールを楽しく、長時間できると思っていました。でも、実際は時間のほとんどを講話の時間が占めていて、とても驚きました。

とても長い講話では、各教科の学習法や単位など制度について聞き、げっそりしたものの、高専の特徴である体験型の授業の話や課外活動の話で夢が膨らみました。とても有意義な時間になったと思います。

クラスワークであるディベート大会では、自分の調べたドラえもののひみつ道具の知識と仲間の意見の援護で相手の意見に対抗することができ、ディベートというのはこういうものなんだと体感することが出来ました。ディベート結果は惨敗という残念な結果に終わってしまいましたが、自分なりに理論を組み立て、最善の戦いをすることができたので悔しくはありませんでした。

ドッチボール大会では、同じチームの人がとても強くて頼りになりました。1回戦、2回戦はチームに損害なく圧勝できて気持ちよかったです。3回戦目は、なす術なく蹂躙されましたが、チーム全員が笑顔で終わったのでよかったです。

午前中は眠気と戦い、午後はたくさんの人と楽しみました。楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいましたが、高専の良い思い出となったのでよかったです。

「SSSSS」

今日は、午前中に5種類の講話がありました。自分の中で新しいことが一杯の高専のシステムを少しずつですが、今回の講話を通じて理解してきました。

まず高専とは、小中高とは異なり学生自身が主体的に自ら行動して自分自身で高め、自立していく場所だと感じま

した。そして体験型の授業で技術・技能を身につけていく場所でもあると思いました。さらに、勉強面だけでなく、挨拶や笑顔も大切にしている学校だと知りました。

最後に、講話を元に5年間の高専の特徴を自分の言葉で5Sにまとめてみます。「自分自身で」の self、「技術・技能」の skill、「挨拶」の salute、「笑顔」の smile、「そんな学校」の school だと思いました。

これから先の5年間、初心を忘れずに、日々コツコツと努力して、身につけた技術を生かし自分自身で未来を切り開いていきたいです。まだまだ知らないことが一杯で、毎日が驚きとワクワクで満ちあふれています！

### 「絆を深めたオリエンテーション研修」

今日は、新入生オリエンテーション研修がありました。最初に、学校生活などについての話がありました。教務主事の藤田教務主事は学習について話して下さいました。進級の条件が思っていたより厳しくて少し不安になったけど、しっかり課題の提出をしてテスト勉強も真面目にしようと思ひ、やる気が出てきました。高専の魅力も改めて感じました。学生主事の中谷学生主事は学生生活について話して下さいました。高専の方針をしっかり理解し、特に服装に気をつけようと思ひました。学校行事はすごく楽しみです。学生相談室長の長谷川室長も学生生活について話して下さいました。悩みや問題を抱えた時にはカウンセラーの方々に気軽に相談しようと思ひました。情報処理センターの波多センター長は多要素認証について話して下さいました。難しかったけど、ID とパスワードの脆弱性や覚えのないサインインの承認が求められた場合、ウイルスの感染が疑われた場合の対処法について理解できたと思ひます。講師の有吉なおみ講師は服育について話して下さいました。改めて服の着こなし方の大切さや TPO に合わせた服装などを理解することができ、この先一生役に立つ知識を得ることができました。

次にクラスワークがありました。難しかったけど、楽しんで議論できたのでよかったです。

最後の球技大会では、私のチーム F3-D は全勝できたのでとてもうれしかったです。同じグループの〇〇さんと初めて話したけど楽しく話せたので良かったです。久々のドッジボールで少し怖かったけどいい運動になりました。グ

ループの絆が深まりました。

今日の新入生オリエンテーション研修で、正しい知識が得られたし、高専についてより深く知ることができました。また、友達との絆も深まったので、1 日を有意義に過ごせました。とても楽しかったです！

文集は、保護者にも読んでもらうことを前提として作成しているが、第1号に関しては、保護者に読後感想を提出してもらうこととした（提出先は、Teams 経由ではなく、筆者の学校のメールアドレス宛）。以下に保護者の感想（3人分）を再録する（〈F3 保護者の ASHIATO — 『F3 の ASHIATO—新入生オリエンテーション研修編—』を読んで』の巻一）を作成し、4月30日に、Teams の「投稿」にアップロードした。なお、作文の再録（掲載）に関しては、関係する保護者より「掲載許可」を得ている。

○「息子の後を追ひ返し、根掘り葉掘り訊くわたし・・・げんなりする息子」○番 ○〇の母

学年が大きくなるにつれ、学校からいただくお便りを読むことに時間をかけることはなくなってきました。特に、行事の報告についてのお便りは、5秒ほどかけてざっと目を通したら「あとで捨てる」引き出しに入れるというのが通常です。でも今回は5秒でさばくなど到底不可能。わたしはたくさんの時間をかけてこのお便りと対峙しました。

・学生生活についての講話を聴いて、不安と夢が膨らんだこと

・服と印象についての講話で、なるほどと感じたこと

・マイクロレポートで負けたけれど悔いはなかったこと

・午前中は眠りそうになったけれどドッジボールで活躍したこと

・筋肉隆々の対戦相手に最後の試合で負けたこと

・みんなと仲良くなれたこと

それらは優等生的にまとめられておらず、自分自身の感性と言葉で書かれていました。誠実な文章ばかりでした。まだなんとなく「こうあるべき」といったような硬い文章もありますが、そんな枠はじきに取り払われるだろうとも感じました。読み進めるうちに、このオリエンテーションのために推しのイベントが犠牲になった子に同情したり、ドッジボールで「空気」になった子に共感を覚えたり・・・。

瑞々しく懐かしい感覚も呼び起こされました。

ところが、これだけたくさん情報があるにも関わらず、何かもどかしさのようなものが残りました。どうしてでしょう？ある情報が見つかりません。これは意図的なものでしょうか？それは、マイクロディベートのチーム別個人名とその勝敗です。出席番号から、我が子が「は組」だったということは分かるのですが、そこからがよく分からないのです。息子の感想にもマイクロディベートのことは全く書かれていません。なんともそっけない。もどかしさの正体は、欲しい情報を得られなかった不満でした。

結果、わたしは息子の後を追いつき、根掘り葉ほり訊くようになりました。どのチームだったの？肯定派・否定派？どんなことを考えて発言したの？こうなると、マイクロディベートのこと以外も詳しく知りたくなります。ドッジボールではチームに少しでも貢献できたのか、講話では寝なかった？お弁当は美味しかった？など。我が家では数日にわたり、この会話が続きました。この会話をする度に、これが先生の目的のひとつではないかと感じつつ……。 (以上です)

\*担任からの返信メール

〇〇様

ご返信ありがとうございます。「『新入生オリエンテーション研修の感想』の感想とその後」を拝読いたしました。丁寧にお読み下さいまして、有難うございました。心よりお礼申し上げます。情報は意図的に「隠ぺい」しました。それは、人間が持つ【「隠ぺい」されたものを明らかにしたい】という欲求を(に) ignite (火をつける)することを目論んでいたからであります(親子のコミュニケーションの facilitator (促進剤)です)。こちらの意図を見透かされてしまいましたね。1本トラれました。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

〇息子より「〇〇くんの作文？小説？を読んで、読みました」とメールするよう指示がありましたのでメールしました。読みました。なかなかぶっ飛んだ内容でしたが、楽しかったことは伝わるお話でした。それにしても、先生宛にメールするようにと、保護者の立場で言われたのは初めてです。これは入学式後の保護者会でメアドを教えていただいたにも関わらず、なかなかメールするきっかけを掴めな

いでいる保護者の為だと予想しました。いかがでしょうか？そうだとなんて素敵なお先生だろうと思います。素敵。息子は寮生で心配な事だらけなので、これをきっかけにまた相談させていただけたらと思います。(そんなつもりなかったんやけど…という事でしたらスルーしてください) 今後ともよろしくお願ひ致します。

\*担任からの返信メール

〇〇様

ご返信ありがとうございます。〇〇くんのは「別冊」です。「本編」はお読みになられたのでしょうか？まだのようでしたら、息子さんが電子データを持っていますので、お読みいただければ幸いです。

10年ぶりの担任で、前回のやり方が通用するかどうか迷っているところですが、これまでの担任でやってきたことをとりあえずやっている感じです。管理職をやっているときに、学生とのコミュニケーションが大事であること以上に、保護者の方とのコミュニケーションの重要性を痛感しておりましたので、今回は、積極的に、保護者の方を巻き込んで(?) クラス経営を行っていかうとの考えの元、このようなイベント(?)を企画した次第です。お母様のような味方(?)がいらして心強いです。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

〇1日が終わって帰宅した息子に「どうだった？」と聞いてもドッジボールの話くらいしか聞けませんでした。冊子を読んでいると1日しかなかったにもかかわらず、いろんな事を学んでいたのだとわかりました。初対面の人と関わるのがとても苦手な息子ですが、この1日で初めての人とも話せた聞いて少し安心しました。遅くなって申し訳ありませんでした。行事毎にこんなふうにしていただけると、学校での様子が少し知ることができ嬉しいです。先生は大変な事でしょうが今後も宜しくお願ひいたします。

\*担任からの返信メールは省略。

## 2・3・2 第2号(『初めての定期試験』編)

表紙【付録6】に続いて、学生の作文を掲載して、文集を作成した。以下に学生の作文(4人分)を再録する。

「愚か者」

前期中間試験の結果が返ってきました。一教科ずつ返ってくるたびに、自分の想像よりも遥かに低くとても悲しくなりました。赤点もいくつかありました。しかし、高得点が取れていた教科もあったのでよかったです。

今回の前期中間試験から学んだことは、試験対策の重要性です。正直最初のテストということもあってだいぶ舐めてました。ほとんどの教科はテストの前日ぐらいしか勉強していませんでした。その中で唯一対策していた生物だけは、とても点数が高かったため、次の前期末試験は全ての教科をしっかり対策したいと思います。得に今回の試験で赤点だった教科は力を入れて対策しようと思います。

次の前期末試験は中間試験よりも難しくなっているだろうと思います。中間試験よりも点数を伸ばして、赤点を0にすることを目標として、期末試験を頑張ろうと思います。それと、何にしても甘く見ることは良くないと学習しました。

#### 「初めての定期テスト」

初めての中間試験も終わり、成績も返ってきました。結果を見て、わかってはいたけどショックを受けました。初めての定期テストは明らかに自分の勉強時間が足りなかったと反省しています。特に放課後の時間の使い方を改めて、しっかりと集中できる環境で取り組んでいこうとおもいます。このテスト結果を受けて、授業の受け方、家庭学習の取り組み方を改善していきたいです。また、どんな感じで問題が出題されるかや難易度が何となく分かったため次は同じようなミスをしなないように対策していきたいと思います。次の期末試験まで時間もあまり時間ありません。前回の失敗を繰り返さないためにも早いうちにテスト勉強に取り組み、できないところや分からないところは、先生や、友達に聞きたいと思います。期末テストは、自分で目標を設定して、苦手教科に重点を置いて勉強をしていきたいと思っています。

#### 「千里の道も一歩から」

高専に入学してはじめての中間定期試験を行いました。今回の定期試験で、毎日コツコツと勉強をしていかないといけないということがよくわかりました。中学生だった頃だとあまり試験に向けての勉強をしなくても授業さえ聞い

ていれば悪い点を取ることはあまりありませんでした。しかし、高専に入ると授業を聞いても分からないことが多くなっていき、授業だけの勉強では周りについていくことが難しくなっていました。そこから、前もって授業についての予習をしたり、授業を聞いた後に何度も復習をしていくことが必要だという考えになりました。予習や復習をしていく中で分からないことが多くあると思うので、その時は周りの人から教えてもらったりネットで調べたりして必ず理解できるようにしようと思います。今回の中間の定期試験では予習や復習が足りなかったことであまり良い結果を残すことができなかつたけれど、次の期末の定期試験では良い結果を残せるようにコツコツと地道に勉強していこうと思いました。

#### 「勉強大好きになります。」

今回の前期中間テストを受けて、当たり前だけど、模擬試験や練習問題をたくさん解いた教科の方が点数は良かったです。初めてのテストだからと気を緩めて様子見程度で挑みました。復習も暗記もしっかりせず、テスト前に追い込む形で行い、結果はもちろん良いとは言えないものばかりでした。進級に関わる履修単位、学修単位の仕組みを理解せず受けたことも大きなミスだったと思います。今は何となくですが、これらの仕組みを理解していると思うし、厳しいものだと思身に染みて感じたので明確な目標が出来ました。中学までは理科を得意としていたのですが、化学、生物、物理、地学、専門基礎と分かれてより詳しい授業になると、理解が追いつかないものも多く出てきて、他の教科も同様ですが、一日一日の授業が大切に感じました。テスト前の理解が全然できていない危機的状況でも、友達は私を助けてくれました。よくない点数ではあったのですが、友達が教えてくれて、一緒に勉強してくれたおかげで救われたテストもたくさんあったと思います。友達には本当に感謝です。

今後は、自分自身で大体の理解を増やしていったら、細かいところで分からないところは友達や先生に聞いて、高得点を狙っていききたいと思います。簡単ではないと思いますが、日々努力していればテスト前の勉強は少しでも軽くなると思うので、今までの勉強スタイルを変えて、より効率よく行います！

### 2・3・3 第3号（『夏休みのおもひで』編）

表紙【付録 7】に続いて、学生の作文を掲載して、文集を作成した。以下に学生の作文（3人分）を再録する。

#### 「夏休みのおもひで」

夏休みに入って僕は3つの目標をたてました。1つ目がコツコツ勉強をすること、2つ目が適度に運動すること、そして3つ目ができるだけ良い生活習慣をおくるという目標です。

1つ目のコツコツ勉強をするという目標は初めの方は計画をたてて順調に宿題を進めることができていました。しかしあとの方になっていくと今やった方がいい、早く終わらせた方がいいと分かっているながら面倒な宿題を後回しにしてしまい結局夏休みギリギリまでやることになってしまいました。なので、後期には後回しにする癖を治していくことを意識して学校生活を送っていきたいです。

次に2つ目の適度に運動するという目標は達成できたと思います。特に日中など何も無い時には外でバスケをしたりして体が怠けないように生活を送っていたのでよかったです。また、夏休みの間部活がなかったので家の前でキャッチボールをしたり友達とソフトボールの自主練もしたりして充実したと思います。

そして3つ目のできるだけ良い生活習慣をおくるという目標はあまりできませんでした。1度遅い時間に寝てしまったら次の日もまたその次の日も寝るのが遅くなって、悪循環になってしまい、生活リズムが崩れてしまいました。学校が始まるまでに生活リズムをなおして、後期のスタートでつまづかないようにしっかりと整えていきたいです。

#### 「夏を感じない夏休みと三つの目標達」

私は、夏休みのおもひでを書くにあたって、夏休みに入る前に決めた「夏休みの目標」を達成出来ているかについて振り返った。

まず一つ目に、「毎日運動をする」という目標、私は夏休み中にコロナ自粛もあってほとんど外に出なかったが、任天堂が出しているフィットネスゲーム「リングフィットアドベンチャー」を毎日1時間程して、目標を達成することができた。

次に、「学力を維持する」という目標、私は夏休みの宿題

をコツコツとし、英語などは、塾で復習をしたり、教科書を読んだりなどして、完全に維持出来たとは言い難いが、目標を達成することが出来たと思う。

最後に、「専門の予習をする」これに関しては、私の行動力の無さを感じるができるくらいにほとんど予習をすることが出来なかった。二年生以降の夏休みでは、しっかりと予定を組み、もっと色々なことに挑戦し、充実した夏休みを過ごせるようにしようと思った。

今回の夏休みは、あまり挑戦をしなかった夏休みであったが、運動が苦手な私が「毎日運動をする」という継続が重要な目標を達成することができたので、少し自分に自信が持てるようになった。また、コロナのこともあって、友人との約束などは中止にし、家でスイカを食べたりなどもしなかったため、夏ということを感じる機会は少なく、少し寂しい夏になってしまったが、そこそこ充実した夏を過ごすことが出来たと思う。

#### 「終わらなかった宿題」

僕は、今年の夏休みの目標として、「宿題をなるべく早く終わらせる」と夏休みが始まる前に決めました。ですが、この目標は達成することが出来ませんでした。理由は、3つ上げられます。

1つ目は、夏休みが1ヶ月あることによる気の緩みです。夏休みが長いのでそんなに急ぐ必要がないと思ってしまい先延ばしにしてしまいました。その結果、夏休みが終わるギリギリまで宿題に手をつけないということになってしまいました。来年の夏休みは、今回の反省を活かして、先延ばしにしようという考えを捨てて宿題にすぐに取り掛かるようにしたいです。

2つ目は、取り掛かってみると、思っていた以上に夏休みの宿題の量が多かったということです。宿題の数はあまり多くはありませんが、その内容はレポートなどが多く、内容が濃いものばかりでした。これにより、宿題に取り掛かってから終わるまでの時間が長くなってしまいました。

3つ目は、部活動が夏休み後半から始まってしまったことです。これは1つ目と関わるのですが、先延ばしにしていた夏休みの宿題に、部活動が始まったことで、手をつける時間が無くなってしまい、さらに夏休みの宿題が終わるのが遅れてしまいました。

まとめると、宿題を終わらせるのが遅くなった理由は、「夏休みが長いことによる気の緩み」「夏休みの宿題の内容の濃さ」「部活動再開により長引いてしまったこと」です。

来年の夏休みは、今回の反省を活かして、宿題を早く終わらせるようにしたいと思います。

#### 2・3・4 第4号（『体育祭』編）

表紙【付録 8】に続いて、学生の作文を掲載して、文集を作成した。以下に学生の作文（5人分）を再録する。

##### 「先輩たちのカッコいい姿」

高専での体育祭に参加するのは初めてで、事前にリハーサルもしていなかったのでぶっつけ本番で実施するのかもしれない少し不安でしたが、先輩たちが積極的に優しくリードしてくれたため安心して競技をすることが出来ました。競技が終わって寮に戻り、自分の部屋から体育祭の様子を少しだけ見ていましたが、応援合戦はどこの組もとても印象に残るような応援で、先輩たちの体育祭にかける思いは大きいんだと改めて実感しました。あまり大声を出したりすることも出来ないこのご時世でありながらも体育祭をいものにしようとする先輩たちの姿はとてもカッコよかったと感じました。

##### 「体育祭」

今日は、体育祭がありました。体育祭といっても新型コロナウイルスの影響でとても縮小されたものでした。一年生はクラスごとでリレーをしました。前半と後半で分かれていて、自分は後半で走りました。前半の結果は、2着で見ているだけでもとても面白かったです。後半の結果は、1着でした。自分はとても久しぶりに全力で走ったので、とても疲れました。しかし、軽々と走っている人もいて普段から運動するようにしたいなと思いました。

今年の体育祭は、100m走っただけで終わってしまったけれど、来年はいろんな競技をしてみたいです。

##### 「参加時間約10秒」

前期に無理やりねじ込まれた体育祭が始まりました。高校生活初の体育祭です。出場したのはなんと1種目。1年生対抗リレーです。僕は足が速くも遅くもないので、走順が

だいたい真ん中の方でよかったです。あとバトンパスも上手くできるか不安でしたが、僕が走り出した時は5位だったのでプレッシャーははかなり軽減されてよかったです。逆に走り終わりの時は3位だったのでちょっとプレッシャーがありました。普通にバトンを渡せたのでよかったです。前半2位、後半1位という成績でした。みんな運動神経凄すぎますね。10月半ばにある高専祭も楽しみです。

##### 「体育祭を終えて」

新型コロナウイルスのまん延予防処置のもと、体育祭が行われました。規模が大幅に縮小されている中、必死にみんなを盛り上げようとする先輩の姿に感服しました。中には全身タイツの方や、白鳥のコスプレをなさる方もいらっしゃいました。一年生の全員リレーでは前半二位で後半で一位だったので、学年全体でも一位でした。とても嬉しかったです。他学年の競技や、色別対抗リレーでも、緑組が一位になって優勝するのを期待しています。

##### 「体育祭面白かった」

今日は、体育祭ありました。リレーを見ていてみんなが一生懸命走っていてカッコいいと思いました。リレーで集合する前に応援団がみんな揃って歩いていた時に、応援団がすごくカッコいいと思いました。夏休みに部活などで学校に行っていた時に、応援団が練習をしているのを見てすごくカッコよかったです。応援団の応援合戦を見られなかったのは残念だけど来年は見られると嬉しいです。すぐ終わった体育祭だったけど楽しかったです。来年が楽しみです。

#### 2・3・5 第5号（『弁論大会・高専祭』編）

表紙【付録 9】に続いて、学生の作文を掲載して、文集を作成した。以下に学生の作文（5人分）を再録する。

##### 「初の弁論大会」

私たち F3 はマイクロディベートということで教室で簡単にすることがありました。今回、私はリモートという形ではありましたが、弁論大会のディベート大会を見ました。お題がとても難しいにも関わらず、相手にしっかり伝えられるような文を考え主張していてとてもすごいと思いました。



た。森先生や養輪先生もしっかりと根拠があり、良かったと思えました。途中でお互いにギターを引いたり、服を脱いでお揃いにしたりと変わったところもありました。しかし、それ以外の部分では相手にきわどい所を質問されてもいいように対策がされており、話し合いでお互いの意見を交わして、勝とうという意思がリモートでしたがとても伝わりました。本当に貴重なものを見せてもらいました。今度 F3 クラスでまたマイクロディベートがあるので、その参考になって良かったです。来年、再来年に弁論大会に出場するかは分かりませんが、出る機会を貰えた時には、頑張っって主張したいです。

### 「学びと満足感を得た週末」

今まで僕は、小、中、そして高専に入ってすぐのクラス別レクリエーションでディベートを行って来ましたが、今回映像越しに見た弁論大会は、今までのディベート以上に白熱していて、勝負の勝敗が決めづらい試合ばかりでとても面白かったです。映像越しだったため音質があまり良いものとはいえ聞き取りにくい部分はありませんでしたが、実際に証拠を提示したり聞き手が印象に残るような話し方を心がけていたりとそれぞれのチームで違った工夫が見られ、そういった面で今後のディベートに生かせそうだなと感じました。そして高専祭、用事があったため全ての企画を見ることは出来ませんでしたが、吹奏楽部の演奏やダンスステージなど、見ていてとても満足感がありました。吹奏楽部には森先生や仲のいい寮生など、演奏に出ることを知らなかったのが少し驚きましたが、とてもかっこいいステージだったと感じました。中学校とは違うより自由度が増した学校祭で、友達と一緒に露店をまわって食べ物を買って食べるのは地元で開催された一昨年三国祭以来だったので懐かしさを感じることもありました。とにかく、楽しい週末を過ごすことができとても嬉しいです。来年はコロナがおさまるといいですね…

### 「弁論大会・高専祭」

僕は日曜日高専祭に行きました。その日はとても寒くてビックリしました。僕は友達と色々回りました。美味しそうなものを売っている露店が沢山ありました。その中でも僕は豚汁が1番美味しかったです。その後僕達はスマブラ

大会を見に行きました。僕は、〇〇か部活の先輩が優勝して欲しかったのですが、〇〇は惜しくも負けてしまい、部活の先輩は決勝に進出したものの負けてしまいました。でもいい試合を見ることができました。その後には、森先生のバンドを見ました。いつもの特活の時間に見るのとは違って生で見るととても迫力があって凄かったです。養輪先生の歌とギター、森先生のドラムとても凄かったです。また生で聞きたいです。次に抽選会がありました、僕は何も当たらなかったけど、F3の人達が沢山当たってびっくりしました。花火はとても綺麗で凄かったです。

### 「凄かった」

今日の弁論大会を振り返って、自分たちは出場しませんが、文化委員として今日まで準備をし、当日は観客として参加しました。私は、今までに小・中・高とディベートをしたことがありましたがこんなにも客観的に見たことはなかったので、良き経験となりました。先輩方の弁論大会の様子は、今後の自分にとっても参考になりました。

初めての高専祭では、装飾部門に所属していたので、夏休みからずっと高専祭準備に取り組んでいました。看板は、ペンキを使って色やフォントを工夫しながら、仕上げていきました。日々の準備はとても大変でしたが、先輩方に教えて頂きながら、一緒に大きな看板を作り上げることができました。また、絵を描く以外にも装飾部門では、お花を作ったり、大きなタイムスケジュールを書いたり、設置をしたり多くの準備がありました。

今回の学校行事は、裏方として今までにしたことのない経験を積むことができ凄く大変でしたが成長できた時間でした。

### 「高専祭」

私は高専祭を土曜日と日曜日どちらも楽しんだんですけど、高専祭ってすごいなって思いました。高専ではない友達に文化祭の話聞いても今年は面白くなかったと言っていた人が多い中でこんなにも派手に祭りをできることがすごいと思えました。土曜日は吹奏楽を見せてもらったんですけど、どの曲もすごくいい演奏で楽しませてもらいました。ソロパートをしてる人たちもすごくみんな上手で、凄かったです。露店のほうも食べ物しか食べてないんですけど

どれも美味しく、値段もまだ安い方だったと思うので少し食べすぎてしまいましたね。日曜日は午後から行き、MMC と花火を見ました。MMC はどのバンドもすごく上手くて、どのバンドもかっこよかったです。花火は15分間くらい上がっていたと思うんですけどすごく綺麗でした。文化祭で花火が上がるってところも高専ってすげえなあって思いましたね。色々今年は楽しめたので、来年少し余裕があったら運営の方をやってみたいなと思いました。

#### 2・4 保護者懇談会（三者面談）

10月31日（日）に保護者懇談会を実施したが、県外出身の3名のうちの2名（滋賀県出身）に関して、同日に帰省していることが事前に分かっていたので、当日は、Teams チャットのビデオ機能を用いて、学生、保護者、クラス担任である筆者による三者面談を行った（残りの1名は静岡県出身で帰省をしていなかったため、本人は、教員室に来てもらい、保護者とは Zoom を使う形で三者面談を実施した）。また、当日、所用で、面談ができなかった保護者（県内在住）に関しては、学生が帰宅後、Teams 経由で三者面談を行った。

Teams のビデオであっても、対面と変わらず、充実した面談を実施することができたことから、今後は、福井県内在住であっても、遠方の場合には、三者面談をする際に、積極的に Teams（但し、学生と保護者が同じ場所にいる必要がある）を活用したいと考えている。

### 3. 教科指導

本節では、教科（英語）指導を目的とした Teams 使用の実践例を紹介する。

#### 3・1 Teams「投稿」履歴（10月末日分まで）

一般に、英語を含む外国語の習得には、授業外の勉強（自学自習）が必要不可欠であるとされている。筆者は、授業に関する情報に加えて、学生の自学自習を促進するための一助として、Teams の「投稿」に下記の資料をアップロードした（アップロードは、基本、授業日の放課後に実施）。

・授業で使用した PowerPoint、英文の日本語訳、教科書お

よびワークブックの正解（すべて PDF に変換）

- ・単語テスト用対策プリント（PDF）
- ・過去問（定期試験）および正解（PDF）

[04/08 20:17] 「英語オリエンテーション資料」、「授業進捗計画①（前期中間試験まで）」のファイルの UP!

[04/08 20:13] 来週の春休み課題テストについて

来週水曜日に春休み課題テスト（前期中間成績 10 点分）を実施しますが、下記を中心にしっかりと準備をして受験するようにしてください。

①選択問題もありますが、基本、記述問題です（数字、数式等のほかに、「福井高専」「所属学科」も英語で書けるようにしておくこと）。

②勉強の仕方は、眺めるだけではなく、手が覚えるまで（手に書いて試験を受けるということでない、当然のことながら）、何回も書くこと（発音も同時並行的に行えると理想ですが、、、）

◎英単語、英語表現の覚え方の「基礎作り」は、何回も書いて、何回も（正しく）発音することです（小学校の時に、漢字を覚えた時の方法とよく似ていますね。）。時間はかかりますが、確実な方法です。

それでは、皆さんの健闘を祈ります。

この投稿を読んだ学生さんは、「いいね」等のレスポンスをお願いします。

[04/11 21:06] ノートの作り方について（ノート提出に関連して）

ノート提出について質問がありましたので、全員に向けて回答します。予習は本文、日本語訳のみですが、ノート提出には、授業中の活動状況を確認する目的がありますから、授業中に行った練習問題の演習結果もノートに記載する必要があります。したがって、基本的には、見開きの左のページに本文、日本語訳を書き、右のページには演習結果（練習問題の解答、正解）を書くようにしてください。

事前にお話しておけばよかったのですが、すでに別のやり方をしている人はその方法を踏襲しても、上記のように修正してもかまいません（日本語訳用、問題解答用の2冊のノートを作ってしまった人は、ノート提出時には2冊提出することになります）。

本メールを確認した学生さんは、「いいね」等のレスポンス

をお願いします。

[04/15 21:37] **Fundamental Science in English (以降 FSE) (Les.1, Part 1)の PP と音声ファイルの UP**

上記ファイルを UP します (日本語訳は、Part 4 が終わった段階で UP します。Workbook の答え(Part 1~Part 4)は、後日、一挙に UP しますので、単元が終わるごとに、Workbook の該当箇所の問題に解答し、各自、答え合わせをしておいてください (直接書き込み、専用のノート作成のどちらでも可)。

[04/22 13:53] **FSE(Les.1, Part2)の PP と音声ファイルの UP**

[04/22 13:55] **FSE Workbook Les.1 の正解ファイルの UP**

[04/22 13:56] **前期中間単語テスト対策プリントのファイルの UP**

[04/25 16:30] **授業計画① (修正版) のファイルの UP**

以前、UP した授業計画①に間違いがありました。修正版を UP しますので、確認してください。間違えて、申し訳ないです。

[04/29 12:38] **Lesson 1 Part 1 & Part 2 Worksheet のファイルの UP**

上記ファイルを UP します。連休中に取り組むと良いでしょう (別に宿題ではありません。でも、やっておくと、定期試験対策になることはまず間違いのないでしょうね。)

[05/06 13:35] **Lesson 1 Part 3 の資料 (ファイル) の UP**

[05/07 12:07] **Lesson 1 Part 1~Part 3 の PowerPoint File (PDF 版) の UP**

PowerPoint File が開けないというチャットがありましたので、PDF 版で再 UP します。たぶん、開けると思います。

[05/09 11:32] **発音記号読み方早見表 (ファイル) の UP**

発音記号の読み方の早見表[PDF]を UP しますので、自主学習に役立ててください。

[05/13 13:19] **Lesson 1 Part 4 の資料+Lesson 1 日本語訳の UP**

[05/27 11:39] **単語テスト①の対策プリント (ファイル) の UP**

[05/28 18:28] **単語テストは 6 月 2 日 (水) に F3 教室で実施します (全問選択問題 100 問、試験時間 30 分)**

以前、teams に Up した授業計画通りに、上記のように単語テストを実施します。しっかり、勉強して受験してくだ

さい。前期中間成績 (100 点) のうち、20 点分が割り当てられます。前期中間成績=前期中間試験 (50 点分) +課題テスト (実施済み) (10 点分) +ノート提出点 (10 点分) +Workbook 提出点 (10 点分) +単語テスト (20 点分)

[06/02 12:44] **【重要】前期中間試験 試験範囲(英語 I)**

- ・ Fundamental Science in English [textbook] (ii)-(iii), pp.2-12, [workbook(pp. 5-12)]
- ・ 中学英文法 (中文) を修了するドリル pp. 197-203 (p.202 は除く)、p. 209

[06/03 12:12] **過去問(英語 I) (ファイル) の UP**

[06/15 16:15] **授業計画② (ファイル) の UP**

[06/16 7:11] **映画上映は 10:40 から始まります。**

今日から、休み時間は 10 分に戻ります。したがって、2 限目は 10:40 に始まります。10:40 には上映を開始しますので、その時間までに大講義室にきて座席に着席しているようにしてください。

[06/17 13:42] **前期期末単語テスト②の対策プリント (ファイル) の UP**

[06/17 13:56] **FSE (Lesson 2 (Part 5 以外)) Worksheet (ファイル) の UP**

[06/23 15:25] **前期期末試験過去問の UP**

[06/24 13:10] **Les.2 Part 1 のファイルの UP**

関係代名詞に関しては、「中学英文法を修了するドリル」の Les.27,28 も読んでおいて下さい。

[07/01 11:58] **Les. 2 Part 2 のファイルの UP**

[07/07 14:58] **本日のリスニングテスト**

今日の 3 限目に実施したリスニングテストの概況は以下のとおりです。

5 点 : 5 人、4 点 : 12 人、3 点 : 8 人、以下省略

\* 来週も同じ形式でリスニングテストを実施しますので、プリント(明日の英語Ⅲの時間に配布)をしっかりと予習して、受験して下さい。

[07/08 11:33] **Lesson 2, Part 3 のファイルの UP**

[07/09 8:46] **Lesson 2, Part 3 Workbook の答えに関して**

p.17, Expressions の 2 に関して、「一定速度」の答えで、模範解答では、a (constant) (speed)となっているが、a (given) speed ではだめかという質問を受けました。given は元来「与えられた」という意味でそこから、「指定された」⇒「変化しない」⇒「一定の」と意味が派生し、授業でも

given に対して「一定の」という訳語を提示しました。一方、constant は、元来「変化しない」という意味で、そこから「一定の」という意味が派生したものです (Part 3 では、名詞としての constant が使われていますが、形容詞の意味もあります)。問題文が一文(文脈が与えられていない)なので、どちらも正解になりえますが、一般的には constant が答えとなると考えられます (その理由は、given の場合、ドライバーが、例えば、50km/h で走るように命じられて、その指示にしたがって、50 km/h という「一定」のスピードで、車を走らせているというニュアンスが生まれ、かなり特殊な文脈を想定する必要がありますが、constant は、(スピードが変化することなく)「一定の」という意味なので、特殊な文脈を想定する必要がないからです)。

[07/14 14:53] 本日のリスニングテスト

本日実施したリスニングテストの概況は以下のとおりです。

5点: 12人、4点: 11人、3点: 8人 以下省略

[07/14 16:47] 前期期末試験対策プリント (ファイル) の UP

〇〇先生が英語 I の授業で使われているプリントを、提供していただきました。試験対策に活用して下さい。

[07/15 11:37] Lesson 2, Part 4 のファイルの UP

[07/15 12:01] Lesson 2, Part 4 の PowerPoint(訂正版) の UP

[07/20 11:37] Lesson 2, Part 5 のファイルの UP

[07/26 15:56] 【重要】ノート・Workbook の提出について  
7月29日「木」2限目の英語 I の時間にノートおよび Workbook の回収をします (H.R.終了後に返却します)。この時間以外は回収をしませんから、気をつけて下さい。

[08/02 16:40] 明日の1限目は英語 I の授業 (テスト勉強) です (於: F3 教室)。

[08/12 18:41] FSE(Lesson 3)の小テスト、復習テスト (ファイル) の UP

後期中間試験の試験範囲は、FSE(lesson 3)と中学文法 (完了形) です。今回も試験作成担当ではありません。

[08/13 8:39] 単語テスト (後期中間) の対策プリント (ファイル) の UP

[08/19 19:13] 後期中間試験の過去問の UP

適宜、取捨選択すること: 後期中間試験範囲は FSE(Lesson 3)+ 中学文法 (現在完了) 2019 年度の正解は後日 UP する

予定です。

[08/20 16:53] 2019 年度後期中間試験 (英語 I) の正解ファイルの UP

[09/21 14:49] 授業計画③の UP

[10/04 16:11] Lesson 3 Part 1 の資料の UP

[10/04 19:58] 【重要】水曜日の英語の時間に Lesson 3 Part 1 の小テストをします。

[10/11 16:08] Lesson 3 Part 2 の資料の UP

[10/19 21:30] 【要注意】授業時にテキストを忘れた場合、1回ごとに後期中間成績から2点減点します。

[10/26 18:56] 【重要】明日 (水曜日) の英語の時間は Lesson 3 Part 3 の小テストとリスニングテスト B の予行をします。

[10/28 13:49] 【重要】11月1日 (月) の英語の時間終了後にノートとワークブックを回収します (絶対に忘れてこないこと)

ノートは Lesson3 の本文、日本語訳、テキストの問題解答、授業中の板書事項等が書かれているかを確認します。(10点分) ワークブックは lesson 3 の問題解答、丸付けがされているかを確認します。(10点分) 上記の時間以外は受け付けません。

[10/29 9:36] 【重要】11月1日 (月) の授業では『FSE』と『Mr.Evine の中学英文法を修了するドリル』の2冊を使用します。

[10/29 9:52] 11月8日 (月) の授業では Lesson 3 の単元テストをします (試験時間 30分)。

成績評価には加味しませんが、しっかり勉強して受験するようにしてください。

学級担任をしているクラスの学生を対象にした、資料の利用状況、自学自習の促進の度合に関するアンケート (Microsoft Forms 利用)の結果を以下に示す。

質問 1: Teams「投稿」に UP されたテキスト(FSE1)の PowerPoint 資料、本文の日本語訳、テキスト・Workbook の問題の正解、定期試験過去問等を、復習や試験勉強にどれぐらい利用していますか。

- a. 大いに利用している・・・32.5% (13/40)
- b. ある程度利用している・・・55.0% (22/40)
- c. あまり利用していない・・・7.5% (3/40)

d. ほとんど利用していない・・・ 5.0% (2/40)

質問2：Teamsに上記の資料がUPされ、それを利用できることは、あなたの英語の勉強（復習や試験勉強）を促進していますか。

- a. 大いに促進している・・・ 42.5% (17/40)
- b. ある程度促進している・・・ 40.0% (16/40)
- c. あまり促進していない・・・ 15.0% (6/40)
- d. ほとんど促進していない・・・ 2.5% (1/40)

### 3・2 Teams「チャット」履歴（10月末日分まで）

英語に関して、質問がある場合には、「チャット」を用いて気軽に聞いていいと指示したところ、複数の意欲ある学生（学生A、B、C、D）が質問をしてくるようになった（特に、学生Aの頻度が突出している）。

以下にこれまでのやりとり（英語に関する質問とそれに対する回答）を列挙する（チャット内容の掲載に関しては、関係学生から「掲載許可」を得ている）。また、質問（とその回答）の中には、クラス全体に周知したほうが良いと思われるものもあったため、その場合には、授業中に、言及することとした。

○[04/24 17:52]学生A

こんにちは 英語の事で聞きたいことがあるのですが、疑問文に対して、○○did.や○○does.という風に答える時の疑問文というのは、常に【疑問詞+平叙文】になる。というのは正しいのでしょうか。教えて下さい。

[04/24 22:28] 教員

こんばんは。どのような経緯で、そのような疑問が湧いたのかわかりませんが、A good questionですね。ちょっと、長くなるかもしれませんが、以下に具体例を用いて説明します。

{1}（待ち合わせをしている状況で、待ち合わせ時間に自分が遅れそうな時：ターゲット文のみ英文で示します）

A：待ち合わせに遅れそうだ。

B：Who is waiting for you?（誰が君を待っているの？）

A：Sadashi [is].（サダシだよ）

ここでは、Whoがスロット（変数）で、そこをSadashiで埋めることになるので、答え方は、○○ (is/are/do/does/

did.)となります。[ ]は、実際に使われる英語では省略されることがあることを示しています（一般に、学校文法では、省略してはいけないと教えられますが）

(2) (Aが待ち合わせの定番の場所に立っていたところ、友人BがAを見かけて)

B：だれか待っているの？

A：うん。

B：Who are you waiting for?（君は誰を待っているの？）

A：[I'm waiting for] Sadashi.（サダシだよ）

学校文法では、上記のような応答になりますが、実際の英語では、【サダシだよ】ということ伝えたい気持ちが強く、Sadashi is.と答えてしまう場合があります。

したがって、【疑問詞+平叙文の語順?】の場合の応答は、○○ is/are/do/does/did.となりますが、そうした答え方をするのは、【疑問詞+平叙文の語順?】の疑問文に対する場合に限られるとは、（学校文法の範疇では言えるかもしれませんが）、実際に使用される英語（記述文法）まで範囲を広げた場合には、そうだと断言することはできません。

[04/24 23:30] 学生A

深く理解出来ました。夜遅くに有難う御座います！

[04/24 23:33] 教員

教員（研究者）としては、理解してもらえて、説明した甲斐がありました。

[04/24 23:34] 学生A

中学3年の頃から、モヤモヤしていた部分だったので、とてもスッキリしました。本当に有難う御座います。

○[05/03 16:30] 学生A

こんにちは 大変お世話になっております。このような発音の問題（Workbook 同じ発音を含む語を選ぶ問題）が全く分からないのですが、解く上でのポイントを教えて下さい。

[05/03 17:08] 教員

授業の時にも話しましたが、英語の場合には、発音と綴りの間には、ほぼ相関関係がないので、極端な話、ひとつひとつ覚えていかなければなりませんーその際は必ず、音読して覚えることが大事です。まずは、今回の問題の単語の発音を英語辞書で確認してみてください（必要があれば、発音記号の読み方も授業で触れます）。

[05/03 21:56] 学生A

分かりました。気をつけて勉強を進めてみます。授業で発音記号の読み方に触れていただくと有難いです。

[05/03 21:57] 教員

了解しました。

○[05/20 19:03] 学生 A

こんばんわ 大変お世話になっております。I gave a ticket to Osaka to Ken. この文は第3文型で合っていますでしょうか。

[05/20 22:48] 教員

I (S) + gave (V) + a ticket (O) to / for Osaka + to Ken. (to/for Osaka, to Ken は前置詞句なので、5文型の要素としない)。したがって、第3文型です。

[05/20 23:19] 学生 A

分かりました！ 有難う御座います。

○[05/23 15:55] 学生 A

こんにちは 大変お世話になっております。I apologize to him for what I have done. という文は、“誰に何を” という要素があるため第4文型でしょうか。

[05/23 15:59] 教員

5文型は「意味」で判断すると間違えます。授業でもお話ししましたが、前置詞句(to him)(for what I have done)は文型の要素から除外しないといけませんから、上記は、I (S) + apologize(V)+...の第1文型です。

[05/23 16:04] 学生 A

有難う御座います。I am from Fukui. のように前置詞があるのに、第一文型以外の文型になるものがあると思うのですが、from ○○.のように前置詞だけ前置詞として扱われない場合のある前置詞には他にどのような物がありますか。テストに出そうなものも含め、教えてください。

[05/23 16:15] 教員

言語学者の間でも controversial (論争となる) な話題に入ってきましたね。be 動詞は、大別して、existence (存在) と copula (=)の意味があり、I am in Fukui.の場合、am は「いる」という意味で、in Fukui は前置詞句と取り、第1文型(「わたしはいる」で一応意味を成す)と判断し、I am from Fukui.の場合、am は「=」の意味で、I = from Fukui (福井出身者)と解釈し、第2文型(「I =」だけでは意

味が完結していない)と判断するのが、一般的です。但し、言語学者によっては、異なる解釈を提案する人たちもいます。見た目は前置詞句でありながら、形容詞句あるいは副詞句のような働きをしている場合は、5文型の要素とすることがあるということです。その他の例ということですが、He looks like his father. (彼は父親に似ている) は、like は前置詞ですが、この文は、通常、第2文型と判断されません。なぜなら、He looks だけでは意味をなさず、look は copula (見た感じでは=) と解釈し、I am from Fukui.の am と同じ働きをしているものと捉えて、He = like his father (彼の父親に似ているもの) と解釈するために、SVC の第2文型と考えるのが一般的です。be 動詞が「存在」を表す場合は、第1文型、copula (=) の場合は第2文型と考えれば、区別がつけられると思います。

[05/23 16:34] 学生 A

納得しました。日曜にも関わらずご丁寧にお世話ありがとうございます！

○[05/28 8:01] 学生 A

Can you lend some money to me? という文なのですが、“私のために”と訳そうと思うと訳せると思うのですが、for me じゃだめな理由を教えてください。

[05/28 8:16] 教員

to を使うのは、lend という動詞によって、money が (you から me に) 「移動」するということが含意されているからです (ものの「移動」が想定される場合は to、それ以外は for です—授業中にお話しした内容です)。lend money to A for 名詞/動名詞 (～のために A にお金を貸す) という表現はあります。lend A B=lend B to A であり、日本語で「わたしのためにお金を貸してください」と言えるからと言って、英語で for が使えるわけではありません。

[05/28 8:23] 学生 A

分かりました。復習不足でした。有難う御座います。

○[06/05 17:18] 学生 A

こんにちは 大変お世話になっております。I multiply A by B. という文は前置詞句が入っていますが、前置詞句を除くと文として成り立たない気がします。これは何文型になりますか。

[06/05 20:19] 教員

by 以下がないと、追加情報を聞きたくなる文です (I multiply A. で終わると、通常、聞き手は、By what (何で(かけるの)) ? と聞きたくなります) が、I multiply A 自体は「文として」成立しているので、文型としては、I (S) multiply (V) A (O) [by B] の第3文型です。

[06/05 20:43] 学生 A

分かりました。本当に有難う御座います。

○[06/06 13:43] 学生 A

こんにちは 大変お世話になっております。How many cars can the factory produce a day? How many days do you go to school in a week? なぜ a week には、in が付くのですか。教えて下さい。

[06/06 15:42] 教員

1文目の a day の a は per に置き換えることができるもの (a は冠詞としての機能を失っている) で、この day は「時間の (長さの) 単位」としての意味合いが強いものです。2文目の a week の a は one の意味で使われています。当然、How many days do you go to school a (=per) week? という言い方も可能です。どちらの表現も「一週間につき」と訳せることから、一般的には、「一週間につき」の意味で使われる in a week の in は省略可能であるといった説明がなされますが、私が専門としている認知言語学の考え方で説明すると、week の「捉え方」の違いが、反映しています。week を「単位」(より抽象的なもの)として捉えている場合は、a week が、他方、week を、例えば、「月・火・水・木・金・土・日」の「(7日の) 集合体」(より具体的なもの)として捉えている場合一表現が適当ではないかもしれませんが一は、in a week が選択される傾向が強と言えます。まとめると、「{1日・1週間・1か月・1年}につき」に相当する英語表現において、native speaker は、day/week/month/year を「単位」として捉えている場合は、a {day/week/month/year} の形を、そうでない場合は、in a {day/week/month/year} の形を選択 (使用) {する/している} と言っていいでしょう。

[06/06 17:15] 学生 A

とても分かりやすかったです。ご丁寧に有難う御座います！

○[06/25 16:25] 学生 A

こんにちは 大変お世話になっております。空白 3 つに英語を入れるという問題です。I saw the woman \_ \_ \_ once. “あの男性がかつて愛した女性を見ました。正解は that, man, love でした。自分は、I saw the woman. と The man loved the woman once. という二文の合成だと考え、目的格のため、関係代名詞を省略可能だともい、I saw the woman the man loved once. にしました。これでは不正解でしょうか。

[06/26 21:11] 教員

解である that man loved における that は「あの」という意味の指示代名詞です (対義語は this)。この場合、関係代名詞は、目的格) を省略しない形だと、I saw the woman {who/whom/that} than man loved once. が関係代名詞を使った表現になります (括弧内は省略可能です)。

[06/26 21:13] 学生 A

すみません。“あの” 男性 の “あの” という要素を入れることを忘れていました。今後は、よく確認したうえで質問するよう心掛けます。

○[07/22 21:42] 学生 A

こんばんは 大変お世話になっております。

・この伝統的な料理では、ステーキはフライドポテトとともに提供される。In this classic dish, steak is ( ) with French fries. ① supplied ② delivered ③ served ④ presented では、supply, serve, provide はどれを入れても成り立つのでは、無いのですか。

[07/22 22:46] 教員

{supply/provide} A with B は「A に B を供給/提供する」という意味で、その受動文は A is {supplied/provided} with B で「A は B を供給/提供される」という意味になります。したがって、カッコ内に、supplied/provided を入れると、「ステーキはフライドポテトを供給/提供される」という意味になってしまいます。steak is served with French fries. の能動文は 例えば、The chef serves steak with French fries. (その料理人はステーキをフライドポテト付きで提供します) となり、この with は「～といっしょに」という意味で、supply/provide A with B の with とは別物です。

[07/23 6:24] 学生 A

理解しました。夜遅くに返信いただき、有難う御座います！  
納得しました！

○[07/24 7:18] 学生 A

大変お世話になっております。propose と suggest は、「提案する」という使い方をする時にかぎり置き換え可能でしょうか。

[07/25 8:16] 教員

どちらも「提案する」という意味があり、その点では、置き換え可能と言えますが、認知言語学では、「形が異なれば、意味が異なる」ので、厳密には置き換え可能ではありません。propose は「(積極的に) 提案する」、suggest は「(控えめに) 提案する」といった感じでニュアンスに違いがあります(辞書にも載っています)。

[07/25 8:17] 学生 A

分かりました。次回からは辞書を確認した上で質問するようにします。

○[07/24 15:45] 学生 B

お忙しい中、すみません。英語 1 を勉強していたところ、スクリーンショットにマーカで線を引いたところが分かりませんでした。

C 2 I cannot believe the story [which/that he told to me last night].

なぜ told me の間に to が入るのでしょうか。解答よろしくおねがいします。

[07/25 8:10] 教員

元の文を勘案すると、to がない形が模範解答ですね。to があっても英語の表現としては間違いではありません(He told the story to me が元の文だと、to が入り、He told me the story が元の文だと to を入れないと一応説明できます)。授業の時に説明した記憶がありますが、混乱させてしまい申し訳ないです。

[07/25 8:24] 学生 B

丁寧にあります。よく分かりました。

○ [07/25 16:04] 学生 A

The area of the triangle is half as large as the area of the

parallelogram. という文と、The area of the triangle is half the area of the parallelogram. は、同じ意味だと認識しています。なので、“面積がこの円の5分の3であるような円を描きなさい”の英訳で Draw a circle whose area is three fifths as large as this circle. という文と Draw a circle whose area is three fifths the area of this circle. は、同じ意味で、どちらも合っているという認識で正しいでしょうか。

[07/25 16:54] 教員

1 文目の as large as の後には、that (=the area) of が必要でしょうね。

[07/25 17:06] 学生 A

分かりました。ところで、2つ目の英文は正しいでしょうか。

[07/25 17:09] 教員

正しいです。

[07/25 17:13] 学生 A

過去問の答えを見ていると、答えが1つしか書いていないため、その度に質問をするかもしれません。宜しく願い致します。

[07/25 17:14] 教員

了解しました。

○[07/27 20:13] 学生 C

夜分遅くにすみません。F3の○○です。英語Iの一部を変えての英作文は、どのように対策すれば良いでしょうか？

[07/27 20:16] 教員

難しい質問ですね。まずは、教科書本文を徹底的に頭に叩き込むことですかね。文法のまとめのところを見ておくことも大事です。

[07/27 20:18] 学生 C

分かりました。回答ありがとうございます！

○[07/29 18:02] 学生 A

こんばんは 大変お世話になっております。非制限用法の which は、接続詞と代名詞に置き換えられる、と書いてあります。では、A square, which is a regular polygon, has the same sides and angles. という文は A square, and it is....に置き換えられるのでしょうか。



[07/29 19:02] 教員

良いところに気づきましたね。この場合、「接続詞＋代名詞」で置き換えることはできません。正確には、『非制限用法の場合、関係代名詞は「接続詞＋代名詞」に書き換え可能な場合がある』ということです。

○[07/31 16:48] 学生 A

大変お世話になっております。Draw a line from the opposite side to the base so that the line is perpendicular to the base.という文の中央付近に the opposite side to the base という言葉があります。名詞を 2 語以上で説明する場合は名詞の後ろに付けて修飾するというのを習ったので、the side opposite to the base が正しいと思ったのですが、この考えは誤りでしょうか。

[07/31 16:55] 教員

この文の構造は、Draw a line from A to B (A から B に直線を描きなさい (引きなさい)) なので、the side opposite to the base だとこの構造を壊すこととなります。但し、「底辺と向き合う辺」を英訳しなさいという問題であれば、この表現 (the side [(which is) opposite to the base]) が使えます。

[07/31 17:11] 学生 A

すみません。名詞の修飾のことばかりを考えていて文の構造を、考えていませんでした。有難う御座います。

○[08/09 16:17] 学生 A

My father weighs twice my weight. という文は、twice のあとに名詞を置く 一般的な文だと思うのですが On the moon, you weigh one sixth of your weight on the earth. という文では、分数の後に名詞を置かず of を挟んでいます。この違いが生まれる理由は、weight の訳し方の違いにあるのでは無いかと思ったのですが、違いますか。

[08/09 19:05] 教員

良い質問ですね。My father weighs twice my weight. は「私の父は私の重さ (体重) の 2 倍の重さ (体重) がある」で、weigh は、「状態」を表す一方、On the moon, you weigh one sixth of your weight on the earth. は「月 (の上) では、あなたは、地球にいる時の体重の 6 分の 1 の重さ (体重) になる」と解釈するのがより自然なので (「重さである」も可)、weigh は「状態変化」を表しているように見えます。こう

したことから、of の有り無しは、訳し方の違いと言えそうですが、weigh の辞書的意味には、「状態変化」の意味は載っていないので、究極的には、同一物 (者) の場合 (「～倍」 (分数表現も含む) の表現の付加により、weigh に「状態変化」の意味合いを持たせたくりますが)、of が付加されると考えた方が良くもかもしれません。

[08/09 19:16] 学生 A

なるほどです。ワークや例文を見ていて思うのですが、「twice」や「one fourth」の後に of を付けるか付けないかという判断が難しいのですが、どのように判断したら良いのでしょうか。

[08/09 20:38] 教員

基本的には、twice や one fourth の後に [as 形容詞・副詞 as] が省略されていると解釈できる場合は、of は不要と考えれば良いと思います (例外事項も多いですが)。

○[08/15 11:26] 学生 A

大変お世話になっております。～ can hardly move. では、「hardly」の働きで、～はほとんど、動くことが出来ないという文になると思っています。ここからは、無意味な事ですが、I cannot hardly move. という文は存在し得るのでしょうか。

[08/15 13:27] 教員

文法的には、可能ですが、実際の使用 (わかりやすく伝えるという観点) では、ほとんど、使われない表現です。但し、You can hardly move, can you? 「ほとんど動けないだろ？」を否定する目的で、I can NOT hardly move. という応答はあり得ます (但し、not は強調されて発音される)。また、hardly の影響で、can hardly というべきところを、cannot hardly (意味は can hardly) ということがあります (言語学的には leakage 現象 といいます)。

[08/15 15:37] 学生 A

分かりました。有難う御座います！！

○[08/17 14:53] 学生 D

質問です。なぜアメリカは英語名で The United States of America と、冠詞の the があるのに対し、日本は Japan と、冠詞の the がないのでしょうか。

[08/17 14:58] 教員

国名は基本的に the はつきませんが、例外として、複数の集合体として国が成立して場合は、the がつきます。アメリカ合衆国（州の集合体）。フィリピン((Republic of) the Philippines) フィリピンの島々の集合体。

[08/17 15:04] 学生 D

ありがとうございます。固有名詞の場合、the を付ける基準はあるのでしょうか。 the university of Tokyo などの建物の名や地名、人物名のように

[08/17 15:06] 教員

基準はあるようで、ないので、一つ一つ覚えていくしかありません。(発音も同じ)

[08/17 15:07] 学生 D

わかりました。ご教示ありがとうございます。

○[08/28 15:35] 学生 A

Any kind of music will do as long as it is played on a piano. という文「ピアノで演奏されているなら、どんな音楽でもよい」の as as の部分は、どのような意味や役割があるのかについて、教えて欲しいです。お願いします。

[08/28 18:58] 教員

as long as は一見、同等比較の表現に見えますが、「～である限りは」(=so long as)という意味の熟語です。

[08/28 21:43] 学生 A

分かりました。有難う御座います。

○[08/31 14:31] 学生 A

大変お世話になっております。英語の長文に触れたいです。ですが、本を買うのもあれだと思うので、オススメの海外のサイトなどは無いでしょうか。

[08/31 17:19] 教員

- ・ The Mainichi の概要【特徴】日本語版にすぐ切り替えられる【レベル】初心者におすすめ【スマホアプリ】○
- ・ The Japan Times の概要【特徴】日本のニュースを英語で読める【レベル】難しい言葉もすこし出てくるため、中級者向け【スマホアプリ】○
- ・ BBC Learning English の概要【特徴】英語学習者向けのコンテンツが豊富【レベル】初心者におすすめ【スマホアプリ】○ 上二つが英字新聞です。

[08/31 18:20] 学生 A

ご丁寧に有難う御座います。コツコツ頑張ります。

○[09/02 12:19] 学生 D

質問です。「The product is easy to use.」この英文は成立しますか。

[09/02 12:35] 教員

成立します。It is easy to use the product. (その製品を使いのは簡単だ) の use の目的語が主語に繰り上がった形です。日本語訳は、「その製品は使うのが簡単だ」となります。

[09/02 12:37] 学生 D

ありがとうございます。

○[09/04 8:04] 学生 A

大変お世話になっております。take .... into account, take .... into consideration は、「…を考慮に入れる」という意味で使う時、ニュアンス的な違いでもあるのでしょうか。また、英訳する問題が出た時に、「愚かな」という言葉があつたら“foolish”と“stupid”で迷うのですが、判断基準はありますか。

[09/04 9:34] 教員

1つ目ですが、native speaker の中でも、interchangeable (同意語：同じように使える) と考える人と、前者は、何かを決定する際に (take A into account : A の factor を考慮しなさい) に用い、後者は、A = request/offer) の場合に主に使われると区別する人がいるようです。2つ目ですが、[foolish, stupid]で検索するといろいろな説明がヒットしますので、調べてみてください(違いはあります)。したがって、英訳の際は、文脈を考慮することが必要になります。かの有名な、ステイブ・ジョブズの言葉に "Stay hungry. Stay foolish." がありますが、ここでは、Stay stupid.だとジョブズの真意は伝わりませんね。

[09/04 9:54] 学生 A

調べてみます。

○[10/02 16:41] 学生 A

大変お世話になっております。Grammar and Expression の前置詞+関係代名詞で、上の文(画像: (The boiling point is) [the temperature at which a liquid substance changes into gas]. の which は目的格の which だと思っています。な

ので、目的格の *which* を、省略して *at* だけ置くことは不可能なのでしょうか。

[10/02 18:50] 教員

*at* が関係代名詞の前に置かれている場合は省略できません。*at* が前置されず、*gas* の後に置かれている場合は省略可能です。なぜなら、*at* だけが残ると、そのあとには、名詞または動名詞を置かないといけなくなり、S+V の節（この場合、*which* は目的格の *which*）を置けなくなるからです。

[10/02 20:13] 学生 A

文の構造上、おかしな事になってしまいますね。すみません。理解しました。

○[10/30 11:29] 学生 A

[・の個所はスクリーンショット]

- ・ Expression
- ・ 日本語の意味に合うように、( ) 内に適切な語を書き入れなさい。
- ・ この地域では冬でもめったに雪は降らない。
- ・ It (x*seldom* ○*hardly*) *snows in this area in winter.*  
こんにちは 大変お世話になっております。 *seldom* や、*rarely* が適切ではないでしょうか。

[2021/10/30 12:40] 教員

○*seldom*, *rarely* : 頻度 (めったに~ない)

○*scarcely*, *hardly* : 程度 (ほとんど~ない)

⇒文中での位置は *not* と同じ!

※*seldom* と *scarcely* に比べ *rarely* と *hardly* の方が口語的

○*hardly any A*, *scarcely any A* :

程度 (ほとんど A がない)

○*hardly ever*, *scarcely ever* :

頻度 (めったにない)

⇒文中での位置は *not* と同じ!

日本語の文脈から考えて (日本語の「めったに~ない」からも)、【頻度】を表していると考えられるので、君の指摘が正しいですね。但し、*snows* の前に *ever* があれば、*hardly*, *scarcely* が正解になります (東大・京大レベル)。

[10/30 12:42] 学生 A

有難うございます。 *seldom* で丸にしておきます。

○[10/30 15:16] 学生 B

発音で疑問だったのですが、→[a water]の a はなぜアではなくてエイと言うのでしょうか。見分け方を教えて頂ければ幸いです。よろしくおねがいします。

[10/31 16:23] 教員

アメリカ式の発音はア、イギリス式の発音はエイです。吹き込んでいるネイティブがイギリス人で、エイと発音している可能性があります。アの発音でもエイの発音でもどちらも間違いではありません。

[10/30 16:35] 学生 B

国によるということですね。良くわかりました。ありがとうございます!!

#### 4. あとがき

本稿では、本年度4月から10月末にかけて実施した *Teams* を活用した学級経営および教科指導の実践例を報告した。学級経営に関しては、学校行事に関する作文の提出、保護者懇談会(三者面談)における有効性について論じた。教科指導に関しては、授業で使用した資料を同日に *Teams* {投稿}に PDF ファイル形式でアップロードすることで自学自習を促すことができること(アンケートの結果を参照のこと)、*Teams* のチャット機能を用いて、質疑応答ができる状況を作ることによって勉強意欲の向上を図ることができる可能性があることを論じた。

実践報告を通して、遠隔授業ツール以外の分野における *Teams* 使用の有効性の一端を示せたように思うが、今後とも、*Teams* の有効な活用法を模索していきたい。

#### 参考文献

- 東 弘子(2021)『Microsoft Teams 目指せ達人 基本&活用術』、マイナビ出版。
- 草原和博・吉田成章(2021)『「コロナ」から学校教育をリデザインする 公教育としての学校を捉える視点』(オンデマンド版)、溪水社。
- 森 貞(2013)「クラス文集作成を通じた学級指導とその教育効果について」『高専フォーラム発表原稿集』。

【付録 1】

「F3」の意味

F3クラス担任 森 貞

F3クラス担任、「き」が3本の「もり」です。福井高専入学おめでとう。君たちの入学にあたり、「3本立ての法則」一人に何かを伝えたいときに3本立てで話をすると、聞いている側の記憶に残りやすいという法則—に則って、充実した高専生活を送るための大事なお話をします。

君たちは、「F3」のFって何だと思いますか？君たちの多くが、「そりゃ、1年生(First-year)のFでしょ」と思っているのではないのでしょうか？当然、そういう捉え方もあるのですが、私は、『基礎作り(Fundamental)』のFとしたいと思います。つまり、この1年間は、君たちが以下の3点の基礎作りをする時期と捉えてほしいのです。

- ①授業、試験、レポート提出に係る学習習慣
- ②新たな環境に適応した生活習慣
- ③良好な人間関係の構築

詳しくは、入学後のホームルーム等でお話ししたいと思います。最後に、上記の基礎作りを成し遂げるためには、以下の3つの「き」が大切であることもお忘れなく！！(入試説明会ならびに卒業生の結婚式でのスピーチの「ねた」の1つです)

- ①「げんき」(元気)、②「ゆうき」(勇気)、③「こんき」(根気)。

それでは、1年間、よろしくお願ひします。

(『青武台だより』No.225 [令和3年4月1日発行] 掲載原稿)

【付録 2-2】

君に課したものである。国語科教員は、提出された課題を丁寧に読み込み、「読み物」として『青樹』への掲載が可能と判断した作品を校友会誌編集委員会事務局に送付する。これがいわゆる第1次選考である。この第1次選考であがってきた作品を、校友会誌編集委員会メンバーが回読し、最終的に、掲載作品を決定する(第2次選考)。

今年度は、国語科の先生方をお願いをして、例年、手書き原稿での提出であった課題を電子文書ファイルで提出するように学生に周知いただいた。校友会誌編集委員会では、これまで、第1次選考を通過した手書き原稿を、ほぼ均等な数で分けて、5つにグループ分けされた編集委員の代表者に配り、グループ内で回覧する形で回読作業が行われていた。この方法では、ひとりひとりがじっくりと原稿を読む時間が確保できない(電子文書ファイルであれば、USBメモリースティックを用いて編集委員に配布可能となる)ことや、印刷所に手書き原稿を渡しているため、(判読が難しい文字が含まれているせいか)活字原稿に間違いがあり、その訂正作業(校正)に時間がかかるといったことが以前より指摘されていた。そこで、編集作業の改善の観点から電子文書ファイルでの提出をお願いした次第である。ご協力いただいた国語科の先生方並びに学生諸君には心よりお礼申し上げたい。

第2次選考では、A. B. Cの判定基準で評価がなされ、Cの判定がついたものについては、協議の上、最終的には編集委員長がその掲載の可否を決定する。毎年、数は少ないものの、C判定がつく作品がある。「読み物」としては面白いが、一部の表現や内容が『青樹』という公的な刊行物への掲載にはそぐわないという理由で掲載不可にせざるを得ない場合もある。そうであれば、該当の表現や内容を削除して掲載すればよいではないかという声も聞こえてきそうであるが、その該当の表現や内容があつてこそその作品であるため、話はそう簡単ではない。

『歌える翻訳コンテスト』の審査では感じたことのない葛藤が、『青樹』の編集作業(掲載作品の決定)には確かにあつた。責任の重い仕事であると感じている。

(福井高専校友会誌『青樹』第51号  
令和2年2月12日発行 巻頭言 掲載原稿)

【付録 2-1】

『青樹』掲載作品の選考について

図書館長 森 貞

私は「洋楽」が好きで、授業でも、リスニング演習として、歌詞の聞き取りを取り入れている。私が、「洋楽」を用いた英語の勉強に興味を持つきっかけになったのは、ブラームスの「大学祝典序曲」が冒頭に流れる『旺文社大学受験ラジオ講座』(30分の講義が2講義分放送される1時間のラジオ番組[1952放送開始~1995放送終了])において、松山正男講師が担当していた「英語の歌を通して英語を覚える」という講座を聞くようになってからである。英語に関しては、英文解釈、英作文、英文法の講座も開講されており、高校3年生の受験生としては、こちらの講座をしっかりと受講すべきであったが、毎回欠かさず受講したのは、松山講師の講座だけであった。

その「洋楽」好きが高じて、6年前から、校内で『歌える翻訳コンテスト』を開催している。「歌える翻訳」とは、英語の歌詞を原曲のメロディに乗せて歌えるように日本語に翻訳した歌詞のことを指す。応募に際しては、日本語歌詞を書き込んだ電子文書ファイルと日本語歌詞を吹き込んだ電子音声ファイルの2つを提出してもらい、審査員(教員6名で構成)は、日本語歌詞を見ながら音声を聞いて審査を行うことになる。作品募集の案内文書には、「歌える翻訳」を作る上で大切な点は、英語の歌詞が持つ情感やイメージを維持しつつ、大胆かつ柔軟な発想力を駆使して、メロディに乗る日本語の語彙を選択することである旨を明記し、そのような観点から、審査員は応募作品を審査する。第2回コンテスト以降は、『歌える翻訳』を審査委員長が教科を担当するクラスの夏季課題としたことで審査対象作品が大幅に増えたために、現在は、審査委員長による第1次審査と審査委員5名による第2次審査を経たのちに入賞作品を決定することになっている。

ところで、『青樹』に掲載される作品も、2回の選考を経て、その掲載が決定されていることはご存知であろうか。『青樹』に掲載される作品のほとんどは、元々は、国語科が夏季休暇の課題として学生諸

【付録 3-1】

水曜日の男

図書館長 森 貞

図書館事務室のテレビで、NHKの連続テレビ小説『エール』を見ながら、妻弁当(ランチ)を食べる。これが今年度に入ってから私の昼休みの過ごし方です。いっしょにランチをする職員の方たちはいろんな話をしています。

「『エール』の主人公(古山裕一)のモデルとなった古岡裕而(福井高専校歌の作曲者)は、『六甲おろし』(阪神タイガースの応援歌)も作曲してるんですよ。だから、校歌の歌詞を『六甲おろし』のメロディーで歌えるんですよ(実は、『開魂込めて』(読売ジャイアンツの応援歌)や『青雲(あおくも)たかく』(中日ドラゴンズの応援歌)と一緒に古岡裕而作曲—もそのメロディーで校歌が歌えます)。新入生オリエンテーションで1年生全員を対象に校歌指導ってあるんですけど、クラス担任した時なんかは、ラッパ片手に、校歌指導するんですよ。で、高専のメロディーで一通り歌わせた後に、余興として『六甲おろし』のメロディーで歌ってみせるんですよ。そうすると、解放後に、何人もの新入生から、『六甲おろし』のメロディーしか頭に残ってませんって言われるんですよ。あと、体育祭とか卒業式では、吹奏楽部で校歌演奏するんですけど、私なんか、こっそり、六甲おろしのメロディー吹くんですよ(うまくハマります)。でも、耳の良い先生なんかには分かるようで、『森さん、六甲おろし、吹いてたやろ』って言われるんですよ。」

「1985(昭和60)年10月16日に阪神タイガースがセ・リーグ優勝した時、大阪ミナミにいて(宗右衛門町にある八百屋の娘さん(高校生の家庭教師をしました)、道頓堀川に飛び込む人たちを見て、『飛び込みたいな』って思ったんですけど、『すぶぬれで、地下鉄御堂筋線と阪急宝塚線には乗れんな』って思ってた断念しました。」

「夜、うちで、ご飯食べてたら、県外の大学に行ってる息子から、『バイトに行く途中、部屋に鍵なくした。マスターキー(アパート名が入っており、建物入り口の鍵も兼ねたもの)なんやけど。』って電話あったんですよ。んで、車飛ばして、息子のところまで行って、アパートからバイト先までの道を、懐中電灯片手に、徒歩で往復2時間かけて探したんですけど、見つからなかったんですよ。これはすごい出費になるなあって思ったんですけど、『もう一回バイト先行ってみるわ』ってバイト先に行った息子から『休憩室のソファの隙間にあった』って電話あったときは、安心したのかはわかりませんが、急に足が痛くなりましたわ。」

【付録 3-2】

「『青樹』の掲載推薦原稿のこの部分はNGワードが使われているので、一応保留にして、校友会誌編集委員の先生方にご意見を伺ってみましょう。掲載不可ってなったら、『裏青樹』に回すということ。」

ここでは、紙面の都合上、ほんの一部しかご紹介できませんが、業務のこと（コロナ禍における図書館運営やブックハンディングの実施方法、校友会誌『青樹』の回読スケジュールの調整等）や家族のこと、最近笑えた話など、時には、食後のデザートを食べながら、いろんな話をしています（昨今、ソーシャル・ディスタンスが叫ばれていますが、心の距離は相当に縮まっていると思うのは私だけではないと信じています）。

もともとは、新型コロナ禍でリモート授業が続く、人恋しくなっていた私が、職員の方たちにお願ひして、ランチをご一緒させていただくことになったのですが、今では、「今日どんな話をしようかな」、「どんな話が聞けるかな」と、この時間が待ち遠しくて仕方ありません。

今では、毎日の日課となっていますが、当初は、(職員の方たちに対して遠慮する気持ちが強かったのか)毎週水曜日だけの楽しみでした。ある日、毎週水曜日にだけ図書館事務室に用事で来られる生命保険会社の方（いわゆる生保レディー）に「毎日来られているんですか?」と聞かれたことがありました。事務職員の方（7月に県内の高等教育機関に異動されました）この職員の方には、1年半に渡り、公私ともにたいへんお世話になりました。が、すかさず、「いいえ、水曜日にだけ来られているんですよ。」とお答えになりました。その時以来、私は、その生保レディーの方から「水曜日の男」と呼ばれています（毎日、来ているということはいまだに内緒です）。

新型コロナ禍でたいへんな時代となっていますが、私はこうしてささやかな楽しみを見つけています。本号の特集は『新型コロナ禍との向き合い方』です。力作が揃っております。是非、ご覧いただき、これらをヒントに、皆さんなりの『新型コロナ禍との向き合い方』を見つけて下さい。

(福井高専校友会誌『青樹』第52号  
令和3年2月16日発行 巻頭言 掲載原稿)

【付録 4】

**『青樹』巻頭言クイズ**

出席番号	氏名
------	----

- 1 森先生の同級生の俵万智さんは数学特別クラスで森先生のいくつ後ろの席で授業を受けていたか?  
① 2つ後                      ② 3つ後                      ③ 4つ後
- 2 阪神が優勝した時、森先生はどこの川に飛び込みもうとして断念したか?  
① 淀川                          ② 道頓堀川                      ③ 堀川
- 3 森先生はだれのラジオ講座（大学受験ラジオ講座）を好んで聞いていたか?  
① 青山先生                      ② 松山先生                      ③ 扇山先生
- 4 歌える翻訳コンテストの審査員は何名か?  
① 4名                              ② 5名                              ③ 6名
- 5 森先生が、息子がなくなったアパートの鍵を探しまわった時間はどれだけか?  
① 1時間                          ② 2時間                          ③ 3時間
- 6 森先生が下宿先から大阪ミナミのバイト先に行くのに利用した地下鉄はどれ?  
① 御堂筋線                      ② 堺筋線                          ③ 今里筋線
- 7 「水曜日の男」と命名したのは誰?  
① 図書館事務職員              ② 生保レディー                      ③ 校友会誌編集委員の先生
- 8 森先生の息子はアパートの鍵をどこで見つけたか?  
① 休憩室のソファの際間              ② 休憩室のローカーの際間              ③ 休憩室のソファの下
- 9 中目ドラゴンズの応援歌はどれ?  
① 闘魂込めて                      ② 六甲おろし                      ③ 青雲たかく
- 10 『大学祝典序曲』は誰の作曲か?  
① ベートーベン                      ② ブラームス                      ③ チャイコフスキー

得点 /10

【付録 5】

2021/04/20

**F3のASHIATO  
—新入生オリエンテーション研修編—**

【昼食】(お弁当屋さん)  
のり弁当、自身魚フライ、からあげ、ウインナーソーセージ(?)、スパグッティ、etc.

【マイクロディベート】(クラスワーク)  
\*マイクロディベートとは簡易版ディベートであり、構成は以下のとおり。

① 肯定側主張 (3分)  
② 否定側主張 (3分)  
③ フリートーク (バトル) (3分)  
④ 判定 (オーディエンスの挙手の多い方が勝者)・講評 (担任or担任補佐) (3分)

○ チーム分け: い組(01~08)、ろ組(09~16)、は組(17~24)、に組(25~36)、ほ組(37~42)  
・ い~に組 [肯定側4名、否定側4名]、ほ組 [肯定側5名、否定側5名]  
(肯定・否定は、試合直前に、「こ」「ひ」と書かれている紙を引いて決定)

論題:  
1. F3の担任は(義輪先生よりも)森先生の方が適任である。(科目平川先生提供)  
〔当初の論題は、「映画ドラえもん」の主人公野比のび太である〕(過去の『校内弁論大会』—実戦はディベート大会の論題、担任が肯定側ディベーターとして参加)であったが、当日朝の朝活の時間のマイクロディベート説明時に、口をすべらせて、最強の論題(弁論大会での論題)—原作者の藤子不二雄が「ドラえもん」の主人公は野比のび太です!と釘で踏っていたという事実—を披露してしまったために(その瞬間、クラスの学生は全員から「あつ」という声が上がりました)、結果、ボツになりました。(本誌非載)

2. ドラえもんが持っている道具の中では、「どこでもドア」が最強である。(過去の弁論大会の論題)

3. 投票は、黒板よりもホワイトボードの方が適している。(過去の弁論大会の論題)  
(これも、担任が肯定側ディベーターとして参加した時の論題。その時の原因が、「白いものを汚(けが)す快感は何ものにも代えがたい」と主張したことであることを告げた時の女子学生全員の冷たい視線は今思い出しても「冷や汗もの」です。ナハハ)

4. 自動翻訳機(ポケトーク)を持っていれば、英語の授業は不要である。(義輪先生提供)

5. 朝食には、コーンフレークが最適である。(義輪先生提供)

【ドッジボール】(球技大会)  
試合結果:  
Aチーム (01~10) 3勝0敗  
Bチーム (11~20) 3勝0敗  
Cチーム (21~31) 2勝1敗  
Dチーム (32~42) 3勝0敗

【付録 6】

2021/07/15発行

2021年度F3のASHIATO 第2号

**『はじめての定期試験』**

【今回は校正等、一切行っていません。】

F3ホームルーム (2021/07/15)  
目次

1. 「はじめての定期試験」の作文について
2. 前期中間試験成績表(個人)の配布
3. 作文作成

1. 「はじめての定期試験」の作文について  
文字数: 400文字以上(足りない場合は再提出)  
提出方法: teamsのチャット(担任宛)  
提出期限: 7月15日15:35 (H.R.終了時)  
(1)ユニークなタイトル  
(2)出席番号  
(3)氏名                          を本文の最初に必ずつけること。

2. 前期中間試験成績表(個人)の配布  
・保護者に見せて、感想を書いてもらってくださること(単に、「見ました」だけではダメ)。  
・保護者の感想を記入した成績表を明日(7月16日)の朝(1限目の始業前)もしくは昼休み中に各自、森教員室(教員室7)に持参すること。  
・寮生は、成績表のスクリーンショットを保護者に送り、感想を担任のメールアドレス宛送付するように連絡すること(提出期限は7月16日13:00)。

○未提出の学生は、担任から直接保護者に成績を伝えます。

3. 作文作成  
・文集にして、teamsにUPされることを念頭に作成すること(F3学生、F3教科担当等が閲覧可)。  
・送信する前に、表現(てにをは、漢字)および内容をしっかり確認すること。

○ノート等に下書きをすると良い。

【付録 7】

2021/09/21

**2021年度 F3のASHIATO 第3号**  
—「夏休みのおもひで」編—

・夏休みの目標  
箇条書きで提出すること。  
提出方法：teamsのチャット（担任宛）  
提出期限：8月15日 23:59

○担任の目標（目標は夏季休暇前（8月12日）のL.H.R.で学生に披露済み）

- ・後期の授業の準備（試験問題作成を含む）をcompleteする。○でした。
- ・バンド（モーリーズ）でやる曲のドラム譜を暗譜する。△でした。
- ・「みてね」に毎日アップされる県外在住の二人の孫（生後5か月・生後3か月）の写真・動画に、こまめにコメントを入れる。◎でした。

（注）「みてね」とは？  
家族アルバム みてね（かぞくあるばむ みてね）は、株式会社ミクシィが2015年4月13日より提供を開始した家族向け写真・動画共有サービス。iOS版とAndroid版のスマートフォンアプリが提供されている。同社取締役会長の笠原健治が企画・開発しており、主にスマートフォンで撮影した子どもの写真を、夫婦間や家族間といった限定した範囲で、見せたい相手だけに共有しコミュニケーションをはかることを目的としている。（Wikipediaより引用）

・育毛にハゲみ、髪の毛をふさふさにする（アデランス等の人工増毛には頼らない）。××でした。

○担任補佐の目標（同上）

- ・英文の論文を1本仕上げる。→△
- ・バンドの練習以外にも歌の練習をする。→◎
- ・大人の事情によりやむなく削除（個別問い合わせ可）。→×

・作文  
文字数：600文字以上（足りない場合は再提出）  
提出方法：teamsのチャット（担任宛）  
提出期限：9月17日23:59（9月13日から受け付け開始）

- (1)ユニークなタイトル
- (2)出席番号
- (3)氏名

を本文の最初に必ずつけること。

【付録 9】

2021/10/19

**2021年度F3のASHIATO第5号**  
—「弁論大会・高専祭」編—

○弁論大会  
開催日：10月15日（金）【担任・担任補佐関連のみ記載】（敬称略）  
10:50 試合開始（第三試合）教員（森&三輪&芹川）チーム vs 3Ei  
『「肩幅の広さ」などの体格の良さと、発音の説得力との間には相関関係がある。』  
役割分担：○否定側立論：芹川  
引用箇所担当：歌唱 森、ギター演奏 三輪  
歌詞「肩幅が広い人のほうが 肩幅が狭い人よりも 発音に説得力が増す 肩幅が広い人のほうが 肩幅が狭い人よりも みんなから支持される。」  
（『肩have a good day』（ヤバいTシャツ屋さん））

○質疑応答：森  
○否定側反駁：三輪

\*チーム名：「圭さんと愉快な仲間たち」  
「ヤバT」ロゴ入り（黄色字入れ AB田中こころさん）の黒Tシャツ（ユニクロで3枚1500円で購入）を着て参戦。12対9で勝利してしまう。対戦後、「大人げない」と非難の嵐があったとか、なかったとか。「ヤバT」を「ヤバいTeacher」と捉えていた人、多数（まあ、少なくとも、担任が【ヤバT】であることは間違いない!!）

○高専祭  
開催日：10月16日（土）・17日（日）【担任・担任補佐関連のみ記載】  
10月16日 13:00~14:00  
（吹奏楽演奏会）（森はTp.で出演）  
演奏曲：・ようこそジャパリパークへ、  
・イン・ザ・ムード（Tpソロをとる）  
・PIRATES OF THE CARIBBEAN  
・三原色  
・怪物  
・廻廻奇譚  
・Cry Baby  
・宝島（アンコール）

10月17日 15:00~15:30  
【MVCライブ】  
「モーリーズ」（Vocal&アコギ：三輪、Guitar 1：忠住(4B)、Guitar 2：窪田(2B)、Piano：三輪（非常勤）、Bass：高橋（M科教員）Drums：森）

演奏曲：365日《Piano：山脇（C科教員）》  
彩り  
HIMAWARI  
ハル  
Innocent World

（受付日 2021年11月11日）

（受理日 2022年1月21日）

【付録 8】

2021/09/28  
**2021年度F3のASHIATO 第4号**  
—「体育祭」編—

福井工業高等専門学校第56回体育祭（令和3年9月28日（火）開催）

成績

- ・第1学年全員リレー（9:40開始）  
前半組（21名） 第2位  
後半組（21名） 第1位
- ・色別対抗リレー（11:25開始）  
F3から2名出場 第5位